

教育
コンサルタント
の

自画像

第 87 回

相互支援し合う場づくりで、
「働く」を通じた自分軸の
発見・構築をサポート

One & Only 代表
生田 早智江



いくた さちえ

中学・高校5年間のハワイ在住後、帰国。早稲田大学教育学部卒。大手アパレル会社にて秘書、広報、売場責任者を経て、日本の次世代リーダーを創出するNPO法人へ転職。その後、人材教育コンサルティング会社にて営業、研修企画、社内マネジメント業務を経た後、独立。本業のほかにハタモク・副代表、NPO法人はたらく場研究所・理事を兼務。

自分のアイデンティティとは何か？



「あなたは何者ですか？」

そう問われたらみなさんは何と答えますか？

私は、これまでの人生のなかで二度、“人生迷子”になったことがあります。自分が何者なのか、何をしたいのか、これからどうなっていきたいのか、自分自身を見失ってしまうこと、それを私は“人生迷子”と呼んでいます。

父の転勤に伴いハワイで過ごした中学・高校の5年間は、戸惑う日々の連続でした。それは常に「サチエは何がしたいのか」、「サチエはどう考えているのか」、「サチエはどうなりたいのか」をとことん考えさせられる日々でした。なかでも「自分がどうなりたいのか」について考えることが一番難しく、考え続けてもいっこうに答えが出ず、悶々とした日々を送ります。ここが一度目の“人生迷子”時期です。

そして二度目の“人生迷子”は、新卒で入社したアパレル会社を経て、日本における次世代のリーダーを育成するNPO法人に転職したときでした。経済界のなかでもトップ・オブ・ザ・トップの方々との出会いを通じ、先達がこんなに頑張っているのに、自分はいったい何をしているのか？ という自責の念が湧き起こってきたのです。志もなく、そして深く考えることもなく日々をただ淡々と送っていた当時の自分を情けなく感じたと同時に、実は自分には何も勝負するものがないことに気がついた衝撃の時期でした。

“人生迷子”からの脱出



最初の“人生迷子”のとき、いろいろと自分なりに悩んだ結果、私は自分のアイデンティティが「日本人である」という結論に至ります。そして、自分の得意なことを通じて人の役に立つこと、そして人の可能性を拡げる仕事に就いて、もっとイキイキとした人を日本に増やす！ と鼻息荒く帰国しました。

にもかかわらず、迎えたのが二度目の“人生迷子”でした。そのとき初めて自分だけで考えていても^{うち}埒が明かないこと、また自問自答の限界を知りました。そんな折に出会ったのがいまの私の仕事の礎となっているコーチングとキャリア・カウンセリングです。

その結果、イキイキと働く人たちを増やすための直接的なサポートをしていきたい！と思うようになります。そして二度目の転職先、商業施設など接客現場で働く方々を対象とした研修を提供する人材教育コンサルティング会社へ入社します。そこで私は「教育コンサルタント」としての醍醐味を知ることになります。

「自分軸」と私

私は、二度の“人生迷子”経験を通して、いかに「自分軸」を持っておくことが大切かについて学びました。「自分軸」とは、いわゆる自分が大切にしたい価値観、また何か決断する際の判断基準のことです。

私は“人生迷子”になってもいいと思います。ただ、そこから抜け出すことは最終的には自分自身でしかできません。自分以外の誰か、何かに決めてもらうのは、とても簡単ですし、悩むという心的苦痛もありません。しかし、そこには納得感もないことを知っておく必要があります。自分自身の人生を他人や環境のせいにならず、自分のものとして主体的に生きていくためにも、私たちは自分で決めなければならないのです。そこで必要なのが「自分軸」です。そしてそれは他の誰でもない自分自身で築くものなのです。しかし、自分についてはよくわからないのも事実。そこで有効なのが、プロの支援だったり、「サードプレイス」と呼ばれているような場で自分を知ることだったりするわけです。

働くこと≡生きること

「家庭でも仕事場でもない、人々が気軽に集うことができる場所」それが「サードプレイス」です。

私自身、そのサードプレイスを2つ持っています。それが、「ハタモク」(※1)と「NPO法人はたらく場研究所—最高の居場所」(※2)です。いずれも創設時期から携わり、いまは自ら参加しながら運営者としても活動に参画しています。

ハタモクとは、「働く目的」の略語でもあり、社会に出る前の学生と社会人が“ヨコ”の関係で、働く目的や意味について語り合う場を提供するコミュニティです。

また、NPO法人はたらく場研究所—最高の居場所は、自分の働く場を「最高の居場所」という想いに共感する人々が集まるコミュニティです。そこでは、

企業内風土改革の方法など各自の事例を共有したりする勉強会を月に1回、定例開催しています。

この2つのコミュニティに共通しているのは、「働く」というキーワードです。

私は「働くこと≡生きること」だと思っています。ですから、こうしたコミュニティに集う人たちと共に「働く目的」を定期的に自分に問うてみたり、「働く場」を向上させるための施策を多角的に考えられたりするこの機会を、とても貴重な場だと捉えています。なぜならば、「働くこと」の質を上げることは「生きる」ことの質を上げることにもつながると思うからです。

人生というあまりに大きなお題、そして「自分軸」というとかく迷路に入りやすいお題について、考え続けられる場があるということ、そして一緒に悩み考えてくれる人たちがいるというのは、本当にありがたいものです。私自身もこうした場で自分自身の考えを昇華させたり、切磋琢磨し合える仲間と出会ったり、成長につながる機会を得ています。

サードプレイス。いまは企業外に見出すことが多いのですが、私の「教育コンサルタント」としての今後のチャレンジは、企業のなかでサードプレイス的な場を設けること、さらには働く人たちのためのサードプレイスをより多く企業内外にて創出することです。「働く場」そのものが気軽に集える場所になったり、「働く」ことを通じて、自分の可能性を上げていけたらどんなに素敵でしょう。

働く人たちが、誰にも奪われることのない自分の軸を持ちながら、胸を張って働ける日本社会になることを願いつつ、私も日々、「教育コンサルタント」として邁進していきたいと思っています。

〈参考 URL〉

※1：ハタモク <http://www.hatamoku.org/>

※2：NPO法人はたらく場研究所—最高の居場所
<http://saikonoibasho.weebly.com/>

●専門分野・指導実績

専門は、若手人材育成、キャリア教育、「自分軸」発見・構築コンサルティング。個人向けのセミナー講師から、対話を中心とした200名強の大規模ワークショップのファシリテーターまで変幻自在に場を創ることに長けている。

●連絡先

One & Only (ワンアンドオンリー)
TEL/FAX：045-974-8027
e-mail：info@oneandonly-japan.com
URL：http://www.oneandonly-japan.com